



# AI・AX時代における 鳥取からの挑戦

令和8年5月15日

鳥取県知事 平井 伸治

# 鳥取県におけるAI・AX等の実践

## 人間主導の県庁AX推進

- 2019年(R元年)より、業務効率化・県民サービス向上を目指し、様々なAI技術で様々な県庁業務改革を推進

創出時間	AI音声認識	AI-OCR	AIチャットボット	県庁生成AIシステム
	15,500時間/年	3,790時間/年	3,500時間/年	累計活用約2万件

- 2024年(R6年) 倫理面を含めた庁内ルールの策定  
→ 不適切な活用が民主主義や地方自治の根幹を揺るがしかねない危険性  
**自治体デジタル倫理原則、人間主導AI(ええ愛)ガイドライン**

さらなる職員の適切かつ積極的なAI活用のために…

## 2026年『人間主導 県庁AX』スタート

AIによる業務改革  
さらに加速

- 人間主導のAI活用推進の為の職員研修会開催
- 県庁AX(BPR)推進のためのAI活用起点の業務棚卸し
- 自律型AI(AIエージェント)技術の活用開始
- 岡山県と連携した共同研究(RAGの業務実装)
- ガイドラインの見直し/県庁独自のKPIの設定

## デジタル実装と県内データの集積(循環)による地域DXの高度化

2025年(R7)産学官連携の新組織『鳥取県デジタルイノベーションセンター』設立



2025年 データ連携基盤(都市OS)、キャッシュレス基盤を整備

### 現在の主な取組

- 三朝町…温泉効果と健康アプリで町民の健康寿命を延伸
- 八頭町…地域ポイントで地元店舗の活性化を推進

2026年 データ集積のためのデータレイクを整備予定  
さらなる**地域活性化、地域課題解決推進**を目指し、**AI実装を検討中** (より効率的に、より確実に、より便利に)

## 都市OS×AX推進

県民の豊かな暮らしを守る・活力ある鳥取をつくる

- 取組の4つの柱
- ① デジタル実装
  - ② データ高度解析
  - ③ 高度人材育成
  - ④ 地域産業活性化

## 人口減少に起因した公共交通対策 AIを活用した共助交通(のりりん)

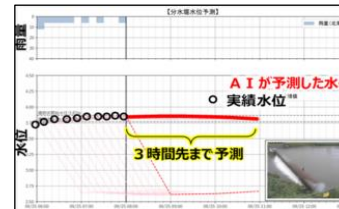
- バス運転士の高齢化・担い手不足、タクシー事業者撤退の懸念から、住民参画による新たな交通の形「共助交通」を立ち上げ
- 乗車の予約には、町内各家庭に設置したIP告知端末を活用(電話での予約も可能)し、予約情報に基づき、AIが配車計画を作成、配車指示は送迎に自家用車を活用する住民ドライバーのタブレットに届く仕組み



## 頻発する自然災害への対応 AI技術を活用した北条川管理高度化

洪水時に雨量計・水位計データや監視カメラ画像を元に、AIが河川水位の上昇予測を実施  
放水路への通水タイミングを3時間前にアナウンスすることにより、放水路の安全確認等を迅速に実施することができるシステムを実証中

データ取得 → AI判定 → メール配信



## 生産力の維持・向上 梨の自動選果ロボットの開発

毎秒3個以上の能率で果実袋を除袋できる自動除袋機、除袋された果実をフリートレイに毎秒1個以上の作業能率で移載可能な自動供給装置、及び毎秒5個以上の高精度・高効率な等級判別が可能な全周計測装置から構成される AI選果ロボットを開発中

自動除袋機の改良    自動供給装置の開発    AI外観センサの開発

<p>袋開発と並行し 精度向上</p>	<p>選果ラインへの 自動供給</p>	<p>高精度・高効率 な等級判別</p>
<p>高効率・高精度な供給～選果を実現する一連ロボット開発</p>		

## スーパー工業士認定制度

→ R4年の制度創設以降、**54人の生徒を認定**

- 次世代ものづくり人材の育成を目指し、AIをはじめとするデジタル技術を活用して生産現場の高度化や新しいものづくりを実現する素地を身に着けた高校生を認定

- 関連資格取得費の助成などにより、認定したスーパー工業士のさらなるキャリア形成を支援

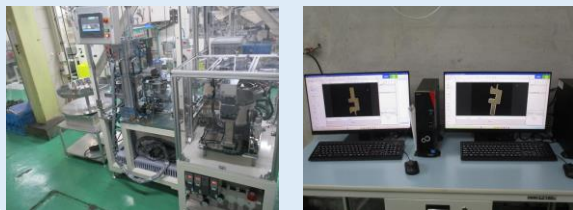
# 鳥取県における産業へのAI・AX実装

産業・業種別にAXのベストプラクティスを創出し、支援機関等と一体的に県内産業界へのAX普及を進め、**人手不足解消と生産性向上**へ

## 製造業

### 工場の生成AI実装による生産性向上モデルの構築

- 製品開発プロセスの各段階で、生成AIが熟練技術者のように見落としがちなりリスクや注意点を助言する「**設計開発AIアドバイザー**」を構築中
- 設備や製造工程における異常の予兆を検知し原因推定及び対応策を提示する「**生成AIによる異常予兆検知システム**」を開発中
- 自動車部品(ブレーキ)の外観検査に、撮影装置・検査機を導入し、不具合ごとにAIによる判定評価を取り入れ、従来、顕微鏡で行っていた検査業務を大幅に効率化(**検査員:約15名→1名**)  
→従前の検査人員を新規事業や増産要求のある製品へ配置転換し、事業拡大を進める



## 建設業

- 建設ドメインに特化した生成AI基盤モデルの研究開発から、現場へのAI実装まで一貫通貫で行うことで**建設界のAXを牽引**  
→国際標準化団体との実証や研究機関との連携も進んでおり、AIプログラムの**将来的な海外展開**にも期待
- 不法・危険盛土等の発見・監視に要するコストや時間、労力の低減に加え、豪雨時の土砂災害の未然防止につながるべく、光学衛星データを用いた**盛土箇所の検出アルゴリズム(AIモデル)の開発・検証**を実施
- ドライブレコーダーの画像をAIで解析**し、路面の破損箇所やガードレールなどの構造物の状況、区画線の劣化状況をシステムで診断し、効率的な修繕計画作成や住民への安全情報を提供



マップ上で解析した道路等の保全優先度をランクごとに色分け

## 農業

- 衛星データとAIで農地の状態を見える化し、農作物の作付け状況・生育状況をリアルタイムで確認  
→将来的には、収穫タイミングの最適化や価格予測に活用することで**新たなビジネスの契機**に



## サービス業

- SNS(instagram)投稿商品の選定とセールストークの作成に生成AIを活用。原稿作成時間が50%削減、SNSで紹介した商品の売り上げが282%向上(**労務削減・売上向上**)
- 自社製品のランディングページをECサイト上に掲載するために生成AIを活用し、1商品あたり作成時間が8時間短縮

# アドバンストエッセンシャルワーカー・理数系・AI活用人材の育成

## 高校教育改革促進コンソーシアム

「高校教育改革に関する基本方針(グランドデザイン)~2040年に向けた「N-E.X.T.(ネクスト)ハイスクール構想」~」の確実な実装に向けて、産業界、高等教育機関等、地域と連携・協働し人材育成を推進

専門的高度人材育成に向け  
**工業・農業の県立高専設置**検討に着手



## 鳥取県のAX × 地域未来 × 人口戦略

### ■ AX成長戦略の推進

- AXに対する県内経営者等の意識変革を図る「地方発AX戦略推進フォーラム」の開催

### ■ 地域未来戦略による民間成長投資促進

- フード・マニュファクチャリング、サポーター・インダストリー、デジタル・AX等の地域産業クラスター形成や、農林水産・観光・環境分野等での生産性向上やブランド化を機動的に支援

### ■ 雇用創出の基盤強化

- リスキングによる人材育成・雇用を一貫支援、市町村の工業団地整備支援

### ■ GXバイオクラスター形成に向けた産学官連携プラットフォームの構築

- 産業・学術機関・行政が連携する「とっとりGXバイオプラットフォーム」を立ち上げ、生産から流通までをカバーする一貫したサプライチェーン構築

「人口戦略県民会議」を設置…地域未来戦略等WGで地域未来戦略に係る産業形成等を議論

雇用の受け皿となるべく産業・地域を変革し、人口トレンドを含めた構造転換を図る

## 国への期待

- 地域未来戦略(戦略産業クラスター計画、地域産業成長プラン)で「強い経済」を目指すために、「強い人材」、「強い地域」のための施策も支援する柔軟性のある運用を
- 地域産業成長プランの策定が進むよう、手続きの簡素化、勝ち筋を特定した具体的な投資計画などの要件緩和、投資支援策のメリットが分かるよう新たな財源措置の早期提示を
- AIやAXの進展により、この先大都市部において生じる余剰人員を地方へ労働移動させる等の産業構造転換が必要となることから、AX人材などの高度な専門人材の育成やリスキング、地方への移住・定住促進について、国をあげて重点支援を

### 地域産業成長プラン策定フロー

